

Ⅲ 神奈川県公立高等学校の海外帰国生徒特別募集実施校の紹介



かながわそうごう 神奈川県立 神奈川総合高等学校



所在地：横浜市神奈川区平川町 19-2

電 話：(045) 491-2000

FAX：(045) 491-3190

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanagawasohgoh-h/

創 立：平成 6(1994)年 10 月【平成 7(1995)年 4 月開校】

課 程：単位制による全日制普通科

設置学科・生徒数・学級数

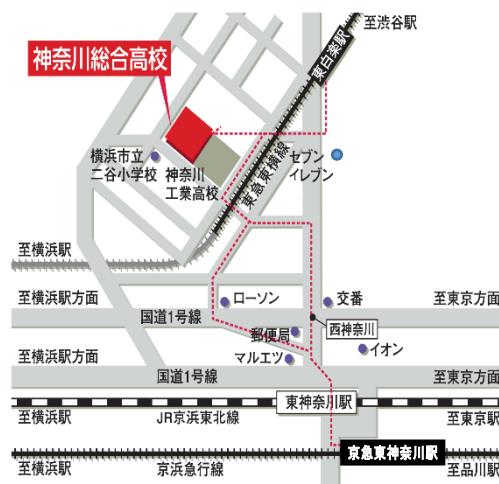
	1 年	2 年	3 年	計
普通科 個性化コース	119	119	113	351
普通科 国際文化コース	99	105	95	299
舞台芸術科	30	29	31	90
学 級 数	7	7	8	22

(生徒数、学級数については令和 6 (2024) 年 5 月 1 日現在)

〈 学校案内図 〉

利用交通機関

- 東急東横線 東白楽駅より徒歩 3 分
- JR 線 東神奈川駅より徒歩 8 分
- 京浜急行線 京急東神奈川駅より徒歩 10 分



(1) 学校の特徴

神奈川県で初の単位制による全日制の課程普通科高等学校として平成 7 (1995) 年 4 月に開校しました。単位制では、1 学年や 2 学年といった学年制をとらず、74 単位以上を修得して卒業となります。募集定員 (令和 6 (2024) 年度入学者選抜) は普通科「個性化コース」119 人、「国際文化コース」119 人、舞台芸術科 30 人の計 268 人です。なお、「国際文化コース」119 人の内、10 人は前期海外帰国生徒特別募集 (4 月入学)、20 人が後期募集 (10 月入学) です。令和 3 (2021) 年度には、専門学科「舞台芸術科」が設置されました。学校教育目標として「生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、主体的に学び、国際社会の中で共に生き共に育つ高い人格と心豊かな感性を備えた人間を育成する。」を掲げて、生徒主体の教育を推進しています。年 2 回の入学者選抜 (2 月と 7 月) を実施し、前期・後期の二学期制を導入して教育制度の異なる海外から帰国するみなさんが入学しやすい仕組みを設定しています。

主な学校行事には、スポーツ大会 (体育祭)、翔鷗祭 (文化祭)、テーマ研究発表会、研修旅行 (修学旅行) などがあります。研修旅行は体験学習を中心とし、令和 6 年度は、農業体験学習、震災学習、国際平和学習、舞台芸術から選択する予定です。アメリカ・中国・フランス・イギリス・スペイン・韓国・ドイツのパートナー校 (姉妹校) 交流は 2024 年 5 月現在、対面での活動を再開しています。

また、部活動も生徒が主体になって盛んに行われています。全国的な美術展への出品、放送部や水泳部の全国大会出場など様々な分野で活躍しています。

校舎は 10 階建ての中央棟と 4 階建ての体育館棟からなり、全学習室が冷暖房完備です。県立神奈川工業高等学校と同一敷地内にあり、温水プールと食堂、図書館が共用施設となっています。本校独自のものとして、本格的な照明設備や音響設備の整った多目的ホール、広いトレーニングルーム、屋内弓道場等々、多様な教育活動が展開できる充実した施設・設備が整っています。

令和 4 (2022) 年度から神奈川県教育委員会より「グローバル教育研究推進校」に再指定されています。

(2) 教育課程

単位制普通科には「個性化コース」と「国際文化コース」の 2 つのコースがあり、どちらも学習指導要領上の必履修科目を学びます。その上で各コースに特徴的な科目を履修することになります。また、どちらのコースでも選択できる科目が多くあります。

「個性化コース」は、5 つのフィールド（「人文社会」「自然科学」「スポーツ・生活科学」「芸術」「国際文化」）から 3 単位以上の科目を履修します。文系や理系だけでなく、音楽や美術、舞踊や演劇など幅広い進路や個性に応じた分野の学習ができるよう、多様な選択科目を設定しています。

「国際文化コース」は、第二外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガル・スペイン語）と国際理解に関連した科目（国際関係論・グローバル学習・文化人類学）の中から計 6 単位が必履修となります。語学力を高め、グローバルな視野を広げます。

単位制の専門学科である舞台芸術科では、学習指導要領に基づく普通科と共通の必履修科目のほか、舞台芸術科の専門科目として演劇や舞踊に関わる必履修科目や自由選択科目を履修します。

本校の学習の大きな特色として「テーマ学習」、「テーマ研究」があります。「総合的な探究の時間」を使って、3 年間を通して自らの興味・関心のある事柄について研究します。1 年次には研究の方法や考え方、文章のまとめ方、発表の仕方などを学び、2 年次以降実験や体験考察などを加えながら研究を進めます。3 年次には研究の成果をテーマ研究発表会で全校生徒を対象に発表します。

授業は 9 時に始まり、月曜日のみ 1 日 3 時限、火～金曜日が 1 日 4 時限（1 時限 90 分）です。生徒は 150 を超える講座から自分の興味関心や適性、進路に合わせて科目を選び、自分に合った時間割を作成します。また、通年や半期の履修科目以外にも「スキー」などの長期休業中に実施される集中講座や、洗足学園音楽大学など連携している大学の講座を受講し単位として認定をすることもできます。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒は「国際文化コース」に所属します。授業は小集団学習を基本とし、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」で習熟度別学習が行われています。また、「コミュニケーション・スキルズ」などでは、ネイティブ・スピーカーの先生が担当するクラスがあります。さらに、英語上級者用に英語による発信力を高める「グローバル学習」といった特色ある講座も開講しています。

「国際文化コース」では、原則としてネイティブ・スピーカーの先生も担当する「ドイツ語」「フランス語」「ハンガル」「中国語」「スペイン語」の第二外国語を選択します。また、海外において日本の高校に相当する教育機関で学習されていた生徒に対して、その学習時間等に応じて単位認定を行っています。令和 6 (2024) 年 5 月現在、39 名の海外帰国生徒が在籍しています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

生徒は、一人ひとりが目的意識を持って進路選択を行っています。大学へ進む生徒がほとんどですが、海外の大学に進む生徒を含め、様々な分野に進学しています。主な進学先は横浜国立大学、横浜市立大学、東京藝術大学、上智大学、早稲田大学、慶應義塾大学、青山学院大学などです。